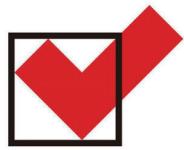


令和7年度秋号

赤十字いしかわ

赤十字のACTION！防災減災
～命のために今動く～



ACTION！防災・減災

命のために今うごく



防災教育事業指導者養成研修にて行われたDIG(災害図上訓練)

赤十字は、動いてる！

SAVE 365

日本赤十字社は、皆さまのご支援で、
365日活動を続けています。

石川県支部
ホームページ



[Facebook](#)



[X\(Twitter\)](#)



[Instagram](#)



日本赤十字社キャラクター

ハートラちゃん



石川県観光PR
マスコットキャラクター
ひゃくまんさん

石川県支部オリジナルピンバッジ
@2013 石川県
ひゃくまんさん #0937

赤十字のACTION! 防災減災

一命のために今動く

今後起こりうる自然災害への備え、特に自助・共助の重要性を改めて啓発し、行動することで救える命があることを広く発信していきます。

KAG(家具安全対策ゲーム)

「KAG」とは?

日本人は1日の大半を自宅で過ごし、特に睡眠中は無防備です。阪神淡路大震災でも家具の転倒やガラスによるけがが多数を占めました。こうしたリスクへの備えとして、「KAG」は自宅の間取りを描き、家具の配置から危険を確認し、地震時の安全対策をゲーム形式で学んでいくプログラムです。



例

家具の配置と共に、倒れる、割れる、飛び出すなど、危険な箇所に×印をつけていく



実際にゲームを行う様子



ひなんじょたいけん

「ひなんじょたいけん」とは?

避難所での「自助」「共助」を学ぶカリキュラムです。避難所の平面図と、年齢や健康状態、被災状況が書かれたカードを使い、5~7人のグループで進行します。参加者はカードを引いて「病気の家族がいる」「トイレが使えない」などの状況にどう対応するかを話し合い、避難者の立場を体験しながら学びます。



赤十字防災セミナー

大規模災害に備えるには、地域での「自助」「共助」を高める防災教育が重要です。

赤十字防災セミナーでは被害や避難生活を具体的に学べます。

詳細は下の二次元コードから赤十字ホームページをご覧のうえ、ぜひご参加ください。



気軽に
ご参加ください!



国際交流

外国の方も参加した防災イベントで、石川県支部も協力して救急法講習等を実施しました。

ボーダレス(避難体験)キャンプでは最初は緊張した様子でしたが、異文化コミュニケーションを体験していく中で連帯感が生まれて、参加者の皆さんの中のボーダー(境界)もなくなっていくのを感じました。



救急法等の各種講習

災害時に必要な「共助」の意識。
共に助け合うこの意識を育むべく、赤十字の講習を普及していきたいと考えています。
地元プロスポーツチーム「ツエーゲン金沢」や「ハニービー石川」の選手にも講習を実施し、防災減災の意識を発信していただいている。



防災教育事業指導者養成研修

石川県支部では初めて、赤十字防災セミナーを実施する防災教育事業指導者の養成研修を実施しました。普段から赤十字にお力添えいただいているボランティアの皆さんに、また新たな場面で力を発揮していただけそうです。



災害時に役立つ自動ラップ式トイレ /

全国の赤十字関係施設で933台を整備
(令和7年3月31日現在)

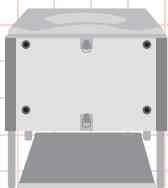
ラップポン WT-4

「ラップポン」とは?

地震発生後、断水で水洗トイレが使えなくなり、避難所ではトイレを巡る問題が発生しました。衛生環境の悪化は時には生命に関わる問題にも繋がってしまいます。

災害時にもトイレ機能を継続させるため、使用されたものが「ラップポン WT-4」です。

水を使わず、臭いも漏らさず、排泄物を密封。微生物(細菌)も遮断する新しいラップシステムです。停電で電源が確保できない場合にも対応出来るよう、リチウムイオンバッテリー等を使用します。



ご利用者の声

水も電気もない状況で、いつものようにトイレが使えることをあきらめていたが、臭いや水を気にせずトイレが出来ることにありがたみを感じた。



40代男性

ラップポン WT-4の特長

point 1 密封個包装



point 2 ボタン1つで自動排泄処理



point 3 防臭袋



point 4 持ち運べる



point 5 感染症対策



point 6 お手入れも簡単



被災された方に寄り添い続ける活動

全国から多くの赤十字関係者が被災地に赴き、
リラクゼーションやハンドケア、健康体操など、
被災された方の心に寄り添って幅広い分野で活動を続けております。



令和6年能登半島地震における 赤十字の活動

職員派遣



日赤救護班
延べ 290班 2,391名
日赤DMAT
延べ 61隊 309名



日赤災害医療コーディネーターチーム
(日赤CoT)
延べ 120 チーム 427名



日赤こころのケア班
延べ 44班 175名



日赤支部支援要員 78名

救援物資の配分

	毛布	16,005枚
	安眠セット	5,230 セット
	緊急セット	2,224 セット
	その他 携帯型簡易トイレ	3,400個 他

ボランティア活動

赤十字ボランティア 約1,600人



早朝の救急外来で
太腿の傷を縫合する医師



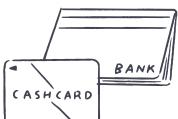
救護所を受診した生後3週間の
赤ちゃんを抱っこする救護班

赤十字の活動を推進するためには、皆さまのご支援が必要です。
赤十字活動資金にご協力をお願いします。



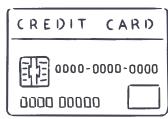
ご寄付の方法

郵便局・銀行の口座振替で



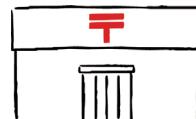
QRコードより申込書をダウンロードして必要事項をご記載のうえご郵送ください。毎年・毎月からお選びいただけます。

クレジットカード・Amazon Payで



QRコードからの登録により、クレジットカードやAmazon Payでご寄付いただけます。毎年・毎月・今回のみからお選びいただけます。

お近くの郵便局で



下記の払込票を切り取って寄付金額、住所・氏名等をご記載のうえ郵便局の窓口にてご寄付いただけます。北國銀行の口座もございます。

あなたのご支援でできることの一例

今回のみ



2,000円のご寄付で
避難所で使う毛布を
1人分備える

防寒対策や床との緩衝材の役割として避難所での生活に欠かせない「毛布」を1人分備えることができます。

毎月



3,000円のご寄付を1年間継続で
安眠セットを
12人分備える

避難先での生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが一式収納された「安眠セット」を12人分備えることができます。

毎月



5,000円のご寄付を1年間継続で
緊急セットを
50人分備える

避難先での生活にあると便利なマスク、ウェットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが一式収納された「緊急セット」を50人分備えることができます。

毎月



10,000円のご寄付で
心肺蘇生トレーニングキットで
6人分講習を行える

感染症まん延状況下での救急法講習は、通常のプログラムを行うことが難しい状況が続いております。そこで、オンラインによる説明と簡易キットを活用することで、感染防止に配慮した講習が実施できます。

表彰制度

赤十字活動資金のご協力に対して、
次のとおり表彰制度を設けています。

2万円
特別社員



20万円
銀色有功賞



50万円
金色有功賞



▲法人



▲個人

金色有功賞受賞後
50万円ごと
社長感謝状



日本赤十字社の表彰	条件	表彰品	個人のみ選択
特別社員 (個人のみ)	累計額が2万円以上	個人:称号付与通知書	支部表彰品(こちらから1つ選択)
銀色有功章 (個人・法人)	累計額が20万円以上	個人:有功章(楯型) 法人:有功章(楯型)	 オリジナル ピンバッチ
金色有功章 (個人・法人)	累計額が50万円以上	個人:有功章(勲章型)、章記 法人:有功章(楯型)	クロス防災グッズ 8点セット 巾着(左記写真)、タオル、携帯トイレ、 スリッパ、マスク、レインポンチョ、 ブランケット、ホイッスル
社長感謝状 (個人・法人)	金色有功章受章後、 累計額が50万円以上	個人:感謝状 法人:感謝状	—

国への表彰	条件	表彰品	備考
厚生労働大臣感謝状 (個人・法人)	個人:100万円以上 法人:300万円以上	個人:感謝状 法人:感謝状	・同一年度内での寄付累計額が条件を満たす必要があります。 ・同一寄付で紺綬褒章と同時申請はできません。
紺綬褒章 (個人・法人)	個人:500万円以上 法人:1,000万円以上	個人:褒状、褒章 法人:褒状	・分納の場合、初回寄付の際に分納のご意思をお伝えください。 ・同一寄付で厚生労働大臣感謝状と同時申請はできません。

令和6年度決算

令和6年度決算は、石川県支部ホームページにて公開しております。
詳しくは左の二次元コードよりアクセスしてください。



いつも
ありがとうございます！